	ディプロマポリシー	1) 高度な情報技術を駆使して情報程 2) 必要な情報を独自に収集・分析し 3) 研究成果を学術論文として作成し	科学分野の先端的課題に取組み,新規 し,課題発見ならびに解決のための計	性,創造性のある研究成果を得ること 画・方策を立案して主体的かつ継続的 論理的に伝えることができる.	に遂行できる.	士(情報学)の学位を授与する.								
大学院(博士後	カリキュラムポリシー	情報科学分野の第1線で活躍できる優れた研究者を養成すること、および社会人を再教育して高度専門職業人を養成することを目的とした特殊研究科目を複数開設し境域研究の指導体制を編成する。 1) 計算機工学・ソフトウェア領域 2) 認識・情報メディア領域 3) 情報システム・通信ネットワーク領域												
期課程)	大学院 (博士後期課程) 大学院 (博士後期課程) アドミッション ポリシー	後期課程) 大学院 情報科学研究博士後期課程では、博士前期課程で培った情報技術基盤や研究遂行能力をさらに高めて情報科学体系の総合的な理解を深め、課題解決に体系的・多面的な取組みを主導できる高度情報技術者・研究者の養成を教育理念としており、この理念に沿った学生を受け入れます。 〈求める人物像> 1)高度な専門知識・技術を駆使して情報科学分野の先端的課題に取り組む高度情報技術者・研究者をめざす人 シッション 2)情報科学分野の問題発見に長けた能力を有し、能動的に問題解決に取り組むことができる人												
	ディプロマ ポリシー	1) 幅広い教養を持ち、社会をより豊 2) 情報科学の要素技術や情報シスラ 3) 自分の考えや研究成果を正確かっ 4) 情報を整理・分析し、問題解決の なお、学修・研究について顕著な	豊かにするために情報科学が果たす役 テムの高度な専門技術を身につけ、問 つ論理的に伝えるプレゼンテーション のための計画・方策を立案して主体的 な成果が認められる者については、在学	割を理解するとともに、情報技術者と 題解決にアプローチでき、ハードウェ 能力および国際的に通用するコミュニ かつ継続的に遂行できる. 学期間を短縮して博士前期課程を修了	することができます.	よび地球的視点から的確に判断・行動 [~] よび実装を行うことができる.	できる.							
大学院(博士前期課程)	後 期	情報科学特論D 1 1 情報科学特論B 1 情報数学特論D 1 情報数学特論B 1 情報数学特論B 1 情報科学特別講義C 1 情報科学特別講義A 1	単位 情報数学特論B 1 情報数学特論A 1 生体情報処理特論B 1 生体情報処理特論A 1 情報科学特別講義D 1 情報科学特別講義B 1	コンピュータグラフィックス特論 2 情報セキュリティ特論 II 1 情報セキュリティ特論 I 1	単位 知能情報システム論 2 情報ネットワーク特論 II 1 情報ネットワーク特論 I 1 分散情報システム特論 1	インターンシップ 1 情報科学演習(学内) 2	情報科学演習(海外) 2	●情報科学研究 (2通年科目)						
	前期	機械学習論 1 情報科学特論C 1 情報科学特論A 1	●情報技術者と倫理 1 英語プレゼンテーションB 1 英語プレゼンテーションA 1	通信ネットワーク構成論A1システム最適化理論2制御システム特論2計算機構成論 II1計算機構成論 I1	 通信ネットワーク構成論B 1 ヒューマンインターフェース特論 2 知識ネットワーク特論 2 ソフトウエア構成論 2 ソフトウェア工学特論 1 					●:必修科目				
	分野	情報基礎領域												
	カリキュラム ポリシー	1) 「研究」領域では、「情報科学 2) 研究科の特徴的な領域として位	学研究」として特定の研究テーマについ 立置づけている「実習」では「情報科学	ハて研究し,修士論文として発表でき 学演習(学内)」や「情報科学演習(海外		を通じた実習を行い、広い視野と実践	つもと「情報基盤」,「情報専門」,「実習 的技術力を養う.	目」,「研究」の各領域を設けてカリ	リキュラムを編成する.					
	アドミッションポリシー	< 求める人物像> 1) 情報分野における高度な専門的 2) 情報分野の第一線で活躍する研 3) 進取の気性に富み, 国際的な活 4) 能動的に学修や研究, 実践的活	的知識や実践的技術の修得をめざす人 肝究・開発者をめざす人 活動や企業家精神を生かした活動をめま 活動を遂行できる人	ざす人			高度情報技術者ならびに専門職業人の養成を	·教育理念としており,この理念に治	合った学生を受け入れます.					
	ディプロマ ポリシー	# 現立立立でして外面の制造を移動した。 公義がよりや薬剤性を含まれて、下記に関ける権力を有すされる平面と思うて容易で高速し、学士(情報が)の可能を受みませる。 《情報ができる。 (1) 音楽システムを構造することのできる間中能力 (1) 音楽システムを構造することのできる間中能力 (1) 音楽システムを構造することのできる間中能力 (1) 音楽システムを観える観えの記念が、												
学部	分野別 到達目標	F) 発表、討論などの双方向対話に グローバル化の時代に対応できる社会 人の基礎的素養・能力として、幅広い 視野の人文学的素養、倫理意識、なら びに言語の基礎的知識を活用した円滑 なコミュニケーション力に加え、心身 の健康を維持増進する方策を備えてい る。	社会を持続的に発展させる基礎的素 養・能力として、物理学をはじめと する自然科学関連の基本的知識を理 解・応用し、科学的知見に基づく思	自分自身の主体的な取り組みについて理 解し、自律的な行動が取れる。さらに社	るとともに、他者と協働して活動する。	専門科目を学ぶ上で必要となる数学に 関する基礎的知識を身につけたうえ で、物理現象その他を数式で表現し計 算することができる。	コンピュータのハードウェア、ソフトウェアみを理解し、説明することができる。		各々を具体的な例題に適用できる。	情報システムの企画・計画を行うための技術	い素養を身につけるための科目群でありできる。	、個々の技術分野について概要を説明	具体的な例題に対し、各要素技術を統 合して目的のシステムの設計・開発が できる。	卒業に必要な単位数 124単位
	配当单位数合計 通年	- (3-4年次) 【人文社会科学】 情報法学(2)	(4年次)科学史(2)	-	-	20 単位	24 単	<u>位</u>		26 単位 卒業研究		単位 	17 単位	105 単位 - 0 単位
	3	【外国語】 英語の語法(2) 英語による情報技術Ⅱ(2) 英語演習(1) 【健康・スポーツ科学】 健康科学(2) スポーツ科学実習(1) (1-2年次) 【人文社会科学】 倫理学基礎(2) 人類の歴史(2) 言語学基礎(2) 人間発達と人権(2) 哲学基礎(2) 社会学基礎(2)	(1-2年次) 物理学基礎(2) 力学(2) 電磁気学(2) 物理現象の数理(2) 現代物理学入門(2) 化学基礎(2) 環境情報科学(2) 地球科学基礎(2)	(1-2年次) 基礎ゼミナール(1) キャリアステップ(1) キャリアデザイン I (1) キャリアデザイン II (1) グローバルテクノロジ論(1) OIT概論(1)		微積分学 II 2 線形数学 II 2 数理計画法 2 数理計画法 2 周波数解析 2	■ オートマトンと形式言語 2● オペレーティングシステム 2	アセンブリ言語 2 UNIXシステム入門 2 ディジタル回路 2 情報処理基礎 2	 情報技術者論 オペレーションズ・リサーチ ネットワーク設計 プログラミング言語論 データ構造とアルゴリズム 	2 ■ 情報システムの計画策定 2 2 ■ ソフトウェア工学 II 2	高信頼システム 2 コンピュー: Webサービス論 2 情報セミ 人工知能 2 情報セミ 情報科学実践演習 (国際PBL) b 1 情報科学実践	モデリングとシミュレーション 2 コンピュータグラフィックス基礎 2 情報セキュリティの応用 2	■ 情報システム応用演習 2● 情報システム専門演習 2■ ソフトウェア工学演習 2	46 単位
	2	情報社会論(2) 応用倫理学(2) 日本の歴史(2) 文学基礎(2) 観る文学(2) 日本国憲法(2) 法学基礎(2) 経済学基礎(2) 経済学基礎(2) 現代経済論(2) 心理学基礎(2) 【外国語】 英語表現(basic 1)a(1) 英語表現(basic 1)b(1)							● データベースシステム■ 情報セキュリティの基礎■ システム工学			情報科学実践演習(国内PBL)a 1	1 ● 情報システム基礎演習 2 1 1 Java演習 3	38 単位
	1	 英語表現(basic 1)b(1) 口語英語 I a(1) 英語表現(basic 2)a(1) 英語表現(basic 2)b(1) 口語英語 II a(1) 口語英語 II b(1) 英語による情報技術 I a(1) 英語による情報技術 I b(1) 【健康・スポーツ科学】 基礎スポーツ科学a(1) 	地球環境(2) 生命科学基礎(2) 情報生命科学(2) 視る自然科学(2)			 ■ 確率・統計 2 ■ グラフ理論 2 ■ 微分方程式 2 ■ 微積分学 I 2 ■ 線形数学 I 2 	 ■ 情報通信ネットワーク 2 ● 計算機アーキテクチャ 2 プログラミング基礎 2 ● テクニカルライティング 2 コンピュータリテラシー 2 ■ コンピュータ入門 2 						■ C演習II 3● C演習 I 3●:必修科目■:選択必修科目	21 単位
	カリキュラムポリシー	育により、大学での学修の動機付けを促し 2)実践的な情報技術者を育成する専門教 a)情報科学の基礎となる「数理科学 で必要となる基礎的能力を育成する。 b)「データサイエンス」、「実世界 「演習科目」での学修を通して専門分野を 3)4年次ではそれぞれの学科で学んだ内に、社会における情報技術の役割や情報技術の役割や情報技術の役割や情報システム学科ディプロマ・ポリシーに 1)数理科学に分類される数学系科目群では、コンピュータの構築に携わる上で必須となる基礎的知識を 3)基幹科目群では、情報システムを構成起こしシステムの企画・計画を行うための 4)応用科目群では、情報システムの多様 5)演習科目群では、各要素技術を実際的めの設計・開発技術を身につける。	、、社会人基礎力を養う。 (育 を」では、情報数学、確率・統計などの数理科 と情報」、「情報知能」、「情報システム」、 に統合してシステムの設計・実装力と問題解決 は容の集大成として「卒業研究」を行い、論理 に依者の責任などについても理解を深める。 には、専門科目を学ぶ上で必要となる数学の基 のハードウェアとソフトウェアの仕組み、プロ に対るの表する要素技術、これらを統合して情報システ	学的能力を養い、学科共通的な科目を含む「「情報メディア」の各分野の「基幹科目」、会力を養う。 的思考力、コミュニケーションやプレゼンテ以下のような方針に基づいてカリキュラムを一般を固める。 グラミング技術、ネットワークの仕組み、セームを実際に構築するためのシステム技術、さいくため幅広い素養を身につける。 それらを人工知能技術を活用することなどに	「応用科目」により専門性を高め、さらに ーションの総合的能力の育成を図るととも 編成する。 キュリティ等について学び、情報システム らには、情報システムの導入目的から解き より統合して目的のシステムを構築するた	専門科目を学ぶ上で必要となる数 学の基礎を固める。	専門基礎 コンピュータのハードウェアとソフトウェ 術、ネットワークの仕組み、セキュリティ 構築に携わる上で必須となる基礎的知識を	- アの仕組み、プログラミング技 等について学び、情報システム	基幹科目群では、情報システムを実際に構築するための	基幹科目 を構成する要素技術、これらを統合して情報 ロシステム技術、さらには、情報システムの Aの企画・計画を行うための技術を総合的に	情報システムの多様な側面を理解し、		演習科目群では、各要素技術を実際的な例題に適用する体験を通じて理解を深め、それらを人工知能技術を活用するなどにより統合して目的のシステムを構築するための設計・開発技術を身につける。	年間履修上限単位数 44単位
	アドミッション ポリシー	情報システムは、社会、産業のあらゆるところで重要な役割を果たし、無くてはならないものとなっています。情報システム学科は、情報技術を適用し、社会の要求・ニーズを満たす情報システムを設計、開発、運用できる能力を有するシステムエンジニアを育成します。 《求める人物像> (1) 現実の問題を抽象化して数学的に表現するとともに、基本概念や法則を活用して論理的に考察し数学的に処理する能力を有していること (2) 物料、化学、あるいは生物に関し、各々に関する現象をその背後にある理論を理解したうえで前道立てて論理的に説明できること (3) 基本的な英文の説解力・語彙力・交法力を有すること。また、平易な英文を用いて意思を伝え、相手の意図を理解できる基本的なコミュニケーション能力を有していること (4) 日本語の基本的な語彙力・読解力と論理的な文章力を有すること												